



第 40 号
 令和 4 年 9 月 1 日
 〒631-8524 奈良県奈良市中登美ヶ丘3-15-1
 奈良文化女子短期大学
 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部
 同窓会 まほろば
 題字 名誉学長 足立 浩

ご挨拶

同窓会会長 池田 順子



新秋の風が微かな涼しさを運んで来ています。同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

母校の最後の卒業式から早や三年余り。同窓会の会報誌の廃刊も検討されましたが、続行の要望も多く、本年も発行する運びとなりました。

さて、コロナによる影響で、従来の経済、くらしに大変な支障と変動をもたらしたことは周知の通りです。

今年こそ、様々な分野での活動をと計画されていた矢

先、第七波感染拡大の実態に、活動開始を躊躇せざるをえない状況にある方もおられることでしょうか。

しかし、喜ばしいことに奈良学園大学は、今年四月より登美ヶ丘キャンパスに統合され、教育活動を開始し活気を帯びています。

今回、投稿をお願いしました先生方、会員の皆様が快くお引き受けくださり、感謝いたします。コロナ禍の中での皆様のご活躍ぶり、先生方の当時のご回想を拝読し、その温かさ、親近感を覚え、胸があつくなりました。職業と家庭を両立するのも大変だったと思います。

今、世界的にジェンダー平等がクローズアップされています。地位・人権の高揚と

もに、女性のもつ感性の豊かさ、多彩で粘り強い行動力を活かし、平和で、よりよい暮らしができるように役立っていきたいものです。

連日、ウクライナの悲惨な状況が報道されるのを目の当たりにし、心が痛みます。日本は、先の戦争で、二度被爆を経験し、世界的にも注目され、核兵器廃絶が世界共通の機運となつています。とりわけ、私たち女性は、子どもを産み育てる母親としての立場からも、平和な社会を次世代へ手渡していきたいですね。

また、大学での教養や専門的な学びが、SDGs（持続可能な開発目標）として活かされていくよう、情報交換もしたいものです。気候危機、パンデミック、また戦争によって食糧や環境の危機的状況が広がるも、人々が平等かつ安全に生きることができる持続可能な社会をつくるための目標を探求し、日々の

生活の中で、工夫、配慮していただけるのも、女性として腕の見せどころではないでしょうか。

今年三月に、昭和四十九年卒業のTMさんが、ご病気でご逝去されました。弔問に行かせていただいた折、会葬御礼状に、「母が同窓会の案内

状を見て、いつも楽しそうにしていた。」とご子息の談話が記されていました。平成三十年のホームカミングデーに出席され、「卒業生全体に同窓会をまた開いてほしい。」と話されたとき、よいお返事ができなかったことが悔やまれてなりません。

今回、会報誌を通じて、皆様の真摯なお考えや活動に触

れさせていただき、たくさん元氣と希望をいただきました。

オンラインで同窓会を開催されて楽しかったとのこと。ぜひ、コロナの感染が少なくなるころ、先生方をお招きし、同窓生が集う機会を持ちましょう。

理事長先生が、「新しいキャンパスへ是非とも足を運んでください。」と呼び掛けてくださっています。高田キャンパスでの同窓会も考慮し、再会を楽しみにしましょう。

最後に、奈良学園大学のますますのご発展と先生方と同窓生の皆様のご健勝をお祈りし、御挨拶いたします。

同窓会総会について

日時：令和 4 年 10 月 9 日（日）
13 時～

場所：奈良学園大学

議案：令和 3 年度決算報告
令和 4 年度予算について
同窓会の運営について

コロナの感染状況により、役員会開催をもって総会とさせていただきます。

同日開催 奈良学園大学大学祭のご案内

テーマ「絆～これから始まる笑time～」

ダンスバンドサークル演奏

LOCAL CONNECT 音楽ライブ

吉本お笑いライブ

ビンゴ大会 模擬店

同窓会まほろばから

「こどもどうぶつえん」を提供します。

ご挨拶

学校法人奈良学園 理事長 伊瀬 敏史



同窓生の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。私は理事長に就任して五年目、任期も二期目となり学園の末永い発展のために日々尽力しております。

このたび、平成元年度より準備を進めて参りました大学のキャンパス統合が完成し、本年四月一日より奈良学園大学は装いも新たになったキャンパスで教育研究活動を行っています。思い返しますと、昭和四十年に奈良文化女子短



奈良学園大学 One Campus

期大学教養科が発足し、保育科、食物栄養科、衛生看護学科、音楽学科が次々に開設されました。そして、平成二十年に登美ヶ丘キャンパスに移転し、同二十六年に奈良学園大学奈良文化女子短期大学部となりました。もう一つの高等教育の流れとして、昭和五十九年に奈良産業大学が三郷キャンパスで開学し、経済学、経営学および法学といった社会科学分野、そして文理融合型の情報学の教育と研究に取り組んできました。この二つの高等教育の流れが平成二十六年に奈良学園大学として一体となり、このたび登美ヶ丘キャンパスで形としても統合され、大きな流れとなつて発展していく緒についたことになりました。奈良学園大学は教育研究の分野的には短期大学の内容を汲んでいて、名実ともに短期大学の四年制大学への昇格が出来たように思います。新しく建設された三号館では

1) 主として使用する人間教育学部だけでなく、保健医療学部の学生や教員も集まる交流の場を設けること
2) 学生と教職員の距離が近い面倒見の良い大学を実践するため学生と教員とが互いに学んでいる姿を常に共有できるようにすることに留意して設計をしました。
是非とも同窓会総会などで足をお運びいただき、新しく見違えるようになった大学のキャンパスをご覧いただきたいと思います。同窓生皆様のご健勝とコロナ禍の一日も早い終息を祈つてご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

奈良学園大学 特別客員教授 磯辺 ゆう



卒業生の皆様、お変わりありませんでしょうか。この数年のコロナの影響で様々な生活が変わってしまったのではないのでしょうか。
私は、自分と家の維持に気を配るのが主な仕事となりました。日頃は買い物位が運動ですが、週二回(真夏は二日に一回の水遣り)無人の実家を自転車で行って草引きや畑を耕したりすることが、健康のもとです。初めは強力な雑



ミュージッククラブ

センターcommons



図書館 本の森
「奈良文化」「医療と生命」「宇宙」の3つのテーマで書籍が配架されています。

草との戦いでしたが、今ではちよつとガーデニング気分です。短大時代にゼミで学生の皆さんと一緒に野菜や草花を栽培したことが役立っています。コロナ禍では特にこの庭仕事が出来ず、楽しみとなくなりました。それ以外の日は、狛犬の写真を整理したり論文を書いたり数独(パズル)をやったりです。そして、コロナ蔓延の谷間になると急いで狛犬調査に行きます。
コロナ対応に追われる間に、世界の情勢は大きく変動し、身近でも事件が起こり、気候変動も身にしみ、今まで通りの生活が難しい時代になってきました。施設の母を見て自分や同年代の多数の行



く末を思い、子どもたちや若い人たちのこれからの思いです。いずれにしても、今楽しめることがあり、研究発表をする場を頂けていることに、感謝です。
早すぎる猛暑と梅雨の再来のような中、ここまで書いたあたりで、冷房・冷食で強力な腰痛となつてしまいました。自他ともにまだまだ何かあるかわからないですが、少しでも元気で、少しでも役に立てれば、よい、としたいこれからです。

どうか皆さん、何はともあれ元氣な毎日をお過ごしください。



川村 富子 先生

短大最後の卒業式から半年後に体調を崩しました。その後回復し旅行など楽しい計画をと思う頃からコロナ禍で現在までテレビと友達になっています。6月中頃、かるがもの引越しの番組を数回観てまるで幼稚園の遠足のようにだと思ひ出し、かわいくたくましい姿に癒されました。子ども達のために楽しい生活をお送りください。



大西 宏子 先生

長く続くコロナ禍の中、教職員の皆様、多くの卒業生の皆さんお元気で過ごすごでしょうか。私は、退職後、町おこしのお手伝いや、地域の民生委員として高齢者の方のお世話をしながら地域デビューし、多くの皆さんから元気を戴いています。最近では、自粛しながら、週1回の体操教室や活脳教室等、「きょうういく」今日行く所がある。「きょうういく」今日行く所がある日々を、元気に過ごさせて貰っています。



山村 悦子 先生

いかがお過ごしですか。コロナ禍で友達や孫とも会えず、お籠状態のなか畑仕事に転倒、左手首骨折で入院、手術。お見舞い禁止・行動は病室のあるフロアのみという制約だらけでしたが、同室の女性4人でミニ共生社会を構築してのおしゃべり三昧。痛みさえなければ上げ膳据え膳で久しぶりの完全休養。まわりの人々のやさしさに感謝しながらの2週間。結果高血圧や体重も改善され、改めて健康であることのありがたさを痛感する機会にもなり、退院後5か月間のリハビリも頑張れました。



米田 紀子 先生

皆様も大事なく、「元気にほちほち」と精進されますこと祈念いたします。地元桜井の山中にて藍染や草木染を楽しんでいます。年2回奈良町にて展示即売会を開催していますよ。ファミリーサポート、遊びの指導等子育て支援にも関わっております。



藤戸 輝子 先生

す。また、隔月に保育所子ども茶会に行きます。茶道を通して子どもと学び合える喜びを感じています。その際卒業生が保育者として活躍している姿を見ます。最高!!

講師として7年間お世話になった短期大学部。最後の学生の卒業を見届けたその4月、保育園に通う孫の担任が偶然にも卒業生。毎日、孫にも私にも笑顔と優しい言葉を贈り続けてくださり、先生として活躍される姿は私の喜びでした。私は大学での経験をベースに現在、子育て支援や教育支援、絵本や図書に関わる活動などで、毎日元気に走り回っております。きっと皆さんも、それぞれの場所自分分を活かして頑張っておられる事とエールを贈ります。



総田 久二子 先生

皆様、こんにちは。現在、保育士、幼稚園教諭、一般企業、専業主婦・・・いろんな分野で活躍されていらっしゃることでしょ。三年前、孫の入園式に出席しましたところ、卒業生の方が、新任保育



永富 富美子 先生

士として採用され、孫の担任でした。懐かしさのあまり、一緒に記念写真を撮り、「お願いしますね。」と言って帰ってきました。そして、現在、年中組になり、また同じ先生に、少しベテラン先生に成長され嬉しく思いました。今はコロナ禍の中、保育園の行事に参加できませんが、保育園の様子や、担任の生の頑張っておられるお話に嬉しく思っています。

幼少の頃からお話、ことに昔話が大好きでした。大人になり幼稚園児たちと「桃太郎ごっこ」、私が鬼の大将になりポコポコ叩かれたことが楽しい思い出です。昔話は口で語り継がれ子どもと大人の心をとらえます。想像の翼が羽ばたき感性が豊かになります。昔話を大切にしたいとYouTubeを始めました。



YouTube 「ふー子ばあちゃんの昔話」

【お知らせ】 セミリタイア後、地域の子育て支援に参加する際、免許証の提示を求められ、免許状紛失の相談が増えています。

令和 4 年 5 月の改正教育職員免許法の成立により、令和 4 年 7 月 1 日から教員免許更新制は廃止されました。

今回の改正で、更新講習未受講等失効した免許状は、再申請で復活することとされています。

※文科省 HP 「令和 4 年 7 月 1 日以降の教員免許状の扱いについて」参照

※再授与申請手続に必要な書類等については、各都道府県教育委員会 HP でご確認ください。

証明書の申し込み→奈良学園大学 HP →目的別メニュー→卒業生のかたへ→短大同窓会→証明書の発行について

問い合わせ先 奈良学園大学 教務課 証明書係 TEL 0742-95-9744

会誌既刊 抜粋再掲

昭和59年第2号 ある回想

宮地 たか



光陰矢のごとしです!

お若いころの先生

本学、短大の誕生と共に歩んで来た私の教師生活も、今や成人の年を迎えるにいたり... 戦時下、戦場でのことです。

が、敵に包囲されたごとき状態になったのです。兵士たちの運命は、風前の灯のごとく絶望的でした。敵が、総攻撃をかけてくれば全滅です。全員が死を覚悟しなければ極限状況へと追い詰められました。



↑演奏ホール、学園ホール、現在の高田キャンパス、奈良文化高校に引き継がれています。

とつての万葉歌は、ことばでつくせない悲愴な迫力をもって胸をつくものがあつたであります。

先生のお好きだった歌を一首。ものふの八十娘子らが汲みまがふ 寺井の上の堅香子の花

大伴家持 (万葉集一九一四一四三)

昭和63年第6号「自分史」

藤善 瑞子



突然のお便り懐かしいですね

私の専門科目の関係で、時々各地の保育研修会で「リズム遊び」の講習をさせていただくことがあります。

先日もある研修会で、てきぱきと会の世話をしてくださった主任保母さんから「先生、もう忘れていらつしやると思いますが、46年の卒業です。」と言われました。



懐かしの高田キャンパス1号館

く作業を楽しんでいます。早いもので、私の短大での生活も四半世紀になろうとし、良くも悪くも閉鎖社会の中にどっぷりつかってききました。長女を皮切りに子どもも次々社会人になっていく時期を迎え、私ももう少し社会へ活動の場を拓げていかなければと考えている昨今です。

昭和63年第6号 手作り食品を

奥井 一義
平成七年二月七日ご逝去



卒業生のみなさん、お元気ですか。私、食品学が専門ですので食物栄養学科以外の方とは縁が少ないのですが内容は非常に密接なものです。本学に来て、足掛け八年になりますが、食に関し当初に比べて製造技術、装置も急速に進歩しております。食生活は、生活様式の急速な変化とともに多様性を帯び食料品店にはインスタント食品、レトルト食品、また調理済食品など調理の手間の省けるものや簡便な各種加工食品の普及に伴って画一的な味に慣らされて来ており昔ながらの伝統的な味を持った手作り食品が少なくなりました。

私は、前職で発酵食品の研究に従事した関係で、講義の中で学生に、自家用のみそ、漬物、梅漬け、また保存食としての佃煮などについて関心度を聞く場合がありますが、近年では、自家製造は激減し

ました。近年の学生出身地は大阪近郊や都市部が増加したためもあると思いますが、浅漬け類にいたっても買ってくるのとことでも淋しいような気がします。二世帯同居では、おばあちゃんが作っているけど・・・ではお母さんは・・・さあ・・・今後どのように伝承されるのでしょうか。しかし、数は少ないが嬉しいこともあります。もっと詳しく聞いてきて、またお母さんからお手紙をいただいたことも・・・。

近年は一般家庭用品として優れた性能のものが普及しております。食べる楽しみから作る楽しみの時代へと移動していることも事実です。安全で栄養のある食品をお母さんと、また子どもさんと楽しく作るのも大切なことです。今年度に新しく「食科学クラブ」ができました。我国の伝統的な食品である味噌、醤油、漬物などのルーツを中国古書などより探り先人達の生活の知恵を勉強するものです。このほか新しい食品を科学するのが目的です。昨年は、味噌、醤油の源流と云われる豆豉を作りました。奈良漬の源流である粕漬瓜や、牛乳から蘇などの古代食品に取り組

んでおります。当時の製造技術は、いま流行語になっているバイオテクノロジーのルーツでもありません。クラブ員は、二十数名で仕込み初期から熟成まで変化する外観や香気、味に興味があるようですが嫌いな香りや臭いと表現する近年の学生には閉口しますが面白く元気にやっています。

高田キャンパスでピアノ指導を26年 田丸かよ子先生のご近況をご紹介します

奈良文化女子短期大学での思い出と子育て支援への情熱

NPO 法人マーマの里 理事長 田丸かよ子



昭和 46 年、奈良教育大学を卒業してすぐにお勤めをしました。音楽の先生方は同年配の先生方も沢山おられて楽しい職場でした。その頃は、先生不足で保育園、幼稚園への就職率も良かった様に思います。ひとクラスを5人の先生が名簿順に8名ずつくらいを受け持ち半年間、ピアノの教本や、

童謡を弾けて将来先生として職場で役立つように願いながら、一人10分ぐらいのレッスンをしていました。ピアノを弾くのが初めての方は本当に大変でしたね。よく頑張られたと思います。まして三部の企業に就職して三年掛けて卒業された皆様には、本当に敬意を表します。26年間お勤めをいたしました。その間、結婚、出産、保育園に子供を預けての仕事と子育てとの両立はやはり大変でした。その間、「才能教育研究」で子供をスクスク育てる極意を学びまして、それを素に平成4年から「母と子の音楽サロン」を開きました。それを発展させて「NPO 法人マーマの里」を立ち上げました。今は、築山駅（大和高田市・近鉄大阪線）近くの「コープなんごう」のテナント棟に「子育てステーション」と言う拠点を開き子育て支援を続けています。親子でいつでも遊びに来て「親と子の音楽、英語サロン」「土曜日パパと遊ぼう会」一時預かりやベビーシッターもしています。

卒業生の皆様もどうかお時間がございましたらお手伝いくださいませ。お待ちしております。



マーマの里

母校の学章は、奈良県明日香村の史跡「牽牛子塚古墳」から出土し、我が国最古の七宝遺品として重要文化財に指定されている「七宝製金銅金具」をデザインされたものです。



【訪れてみませんか】
2022年 3月、飛鳥時代の女帝・斉明天皇(594~661年)の墓とされる「牽牛子塚古墳」が、白っぽい凝灰岩で覆われた八角形の墳丘として現代によみがえり一般公開されています。あさがお塚とも呼ばれる美しい古墳です。

同窓生からのお便り

リモート同窓会を開催しました

平成26年 幼児教育学科卒業

嶋崎(畠山) 鈴香



なりました。「学生時代、ピアノに苦勞したよね。」とか、「毎日、楽しかったね。」などと思ひ出話に花を咲かせました。

また、今の仕事の話や結婚したよと子どもと配偶者を紹介し、わいわい三時間も盛り上がりしました。

学生時代、3年コースで母校に通ひ、働きながら学業との両立に苦勞し、3C全員で助け合つて卒業しました。途中で、挫折しそうになったことや、辞めようと思つたこと、友達と言ひ合ひしたこともありましたが、筒井先生に家族のように支え、見守つていただひて、今の私、また3Cの皆がいます。

今年で卒業して九年、30歳になります。オンライン同窓会をして、更に、前から言つていた「三十路会をしよう」と一と盛り上がつています。

3C全員で集まりたいと思つています。歳を重ねても大切な仲間です。

コロナ禍の去年7月、私が通つていた母校の3Cクラスのライングループで「同窓会したいね。」という話になりました。しかし、学生時代当時とは環境がそれぞれ違い、住んでいる場所がばらばらだということもあり、オンラインで皆で集まることになりました。

慣れないオンラインでの同窓会、はじめは本当にみんな集まるかとドキドキしていましたが、仕事終わりで続々と皆が集まってきました。

画面越しでアドバイザーだった筒井通子先生はじめ、皆の笑顔を見るととても懐かしく何とも言えない気持ちに

「高田キャンパス」の思い出と共に

昭和54年 教養学科卒業

西井(増田) 祐子



当時は、短大内部のみに限られていたので、橋本登喜子学生部長に直談判したことは、「若気の至り」として、今も笑い話として同級生の中で語られています。

高田キャンパスでは、良き恩師との出会いも私の宝物です。私は、子ども好きで出来れば子どもと関わる仕事に就きたいと思うようになっていきました。アドバイザー(担任)の先生に相談をすると、「保母(保育士)資格を取得する試験を受けなさい。」とアドバイスして頂き受験し、卒業と同時に保母(保育士)資格を取得しました。卒業後、3年目に念願の保母(保育士)になることができ、この3月まで子ども達の笑顔に囲まれて充実した日々を過ごすことが出来ました。結婚、育児、親の介護のため中断することもありましたが、先輩や仲間たちがそれぞれの分野で活躍する様子に励まされながら、「私も」と歩んで来ることが出来たと感謝しています。

「まほろば」第40号の発行おめでとうございます。記念する会誌に執筆させていただくことをとても嬉しく思いますとともに私で大丈夫かなと不安を覚えたりします。短大を卒業してから43年高田キャンパスでの二年間は、とても充実した濃厚な時間でした。入学後すぐに、学生自治会役員の推薦候補として選ばれ、あれよあれよという間に自治会役員としての活動の日々が始まりました。学園祭や新入生歓迎会などの企画や準備はとても大変でしたが、先輩や仲間たちと共に考え、励まし合い、助け合いをする中で芽生えた絆は今でも大切な宝物になっています。2回生の時の学園祭では、「外部学生によるジャズ演奏」の企画を考え学生課の先生と何度も話し合いをしてお許しを頂いたことが思ひ出されます。

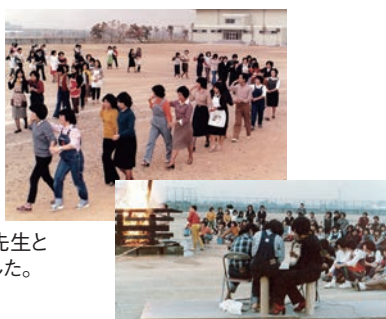
の親御さんの絆作りのために役立てることは出来ないかと思案中です。



故 橋本登喜子先生



学園祭



ご指導いただいた故 原田正行先生と当時、学園祭は3日間開催されました。

遊びこそ学び

平成 31 年 幼児教育学科卒業

中尾 (伊藤) 晃代



「遊びこそ学び」私が幼稚園教諭となつて、一番実感した言葉です。

将来を担う子ども達に寄り添い、その子たちと一緒により良い社会にしたい、この思いを胸に幼稚園教諭を志しました。ピアノは苦手、子ども達の前に立つと緊張する、さまざまな不安がありました。が、奈良学園大学奈良文化女子短期大学で学んできたことを糧に幼稚園教諭の道に一



子どもたちとの毎日はワクワクの連続です。

歩踏み出しました。当時、自信を持って言えたのは「子ども達が大好き」この想いだけです。

子ども達より近い存在でありたい、という願いが叶い、奈良文化幼稚園に勤務、一年目で年少児担任を任せていただけの事になりました。入園式前、クラス名簿に並ぶ名前を眺めては、どんな子ども達かな、どんなクラスになるのかな、と毎日期待で胸を膨らませました。そして、入園式、子ども達と対面したときの満面の笑顔で「せんせい」と呼ばれた嬉しさを今でも忘れられません。

子ども達との一年間が始まりました。期待と楽しみで胸を膨らませていた時とは、また違った思いが溢れます。どうすれば子ども達は集まってくれるのだろうか、どうしてこつちを見てくれないのだろうか、私って子ども達からしたら魅力的ではないのだろうか、想像できなかった問題に毎日苦悩し、涙が流れる日もありました。今なら、当時の自分に「大丈夫だよ」と笑顔で抱きしめてあげたいです。当時、私を救ってくれたの

は「遊びこそ学び」の理念を教えてくださった先輩方でした。

子ども達が自然と集まるのは、子ども達の大好きな遊びが目一杯できる、と子ども達が確信できたときなのだと思いました。子ども達を私主導で動かそうとしていたのではない、自分に問いかけます。大事なものは子ども中心であること。そのためには、子ども達の発達や興味のあるものを知ろうとする深い幼児理解、好奇心をくすぐるきつかけ作りや準備が大切です。子ども達の大好きな遊びを通して、経験してほしいことを保育に取り入れ、膨らませることで子ども達は学んでいくことを実感しました。子ども達自ら掴み取った経験や思いは、私が言葉にしなくても、自然に子ども達の中に沁みていきます。

苦悩した日々の中に、保育者としてのやりがいを見つけた。面白さを感じ一年目でした。どうすれば子ども達は喜ぶかな、ワクワクしながら今日も保育を組み立てます。「心が動いた分だけ強くなる」次はこれを仕掛けたいという私の願いと、次は何をしようかなという子ども達の期待が合わさり、今日も一緒に強くなつていきます。



1967年1月 奈良文化女子短期大学付属幼稚園設置
2014年4月奈良文化幼稚園へ園名変更

月に1度「みどりの幼稚園」と称し、朝登園してから降園するまで、一日中キャンパス内の自然の中で過ごします。周りには「自然」だけ！不思議発見！宝物発見！

編集後記

会誌「まほろば」第40号を発行することができましたこと、同窓生の皆様のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。今号は、一四二五三名の皆様にお届けさせていたただくことができました。ご尽力いただきました皆様から感謝申し上げます。

まだそんなに遠い昔のことではなく、父や母、祖父の時代、日本にも戦争がありました。人の生き死にが、毎日のようにニュースとして取り上げられています。

今まさに、そのまっただなかで現代を生きておられる同窓生の皆様、手を伸ばせば、つながる手のあることを覚えておきましょう。同窓会「まほろば」が、その一助になれば、どんなに嬉しいことでしょう。

皆様のおますますのご活躍を祈念し、ご健康をお祈り申し上げます。

(編集スタッフ一同)

令和3年度の同窓会決算及び令和4年度同窓会予算について下記のとおり報告します。

令和3年度 同窓会決算書

(収入の部)

項目	金額(円)
前年度繰越金	84,336,191
内訳	82,699,458 定期預金 1,636,733 普通預金
会費	0
収入	※ 3,991,202 <small>奈良学園大学後援会から移管</small>
利息	4,541
合計	88,331,934

(支出・資産部)

項目	金額(円)	備考
事務局費	269,085	事務局運営費
事業費	169,936	会誌発送作業料
備品費	10,098	シュレッダー
通信費	980,167	会誌発送メール便・切手・電話代他
印刷費	338,850	会誌、封筒
光熱水費	0	
慶弔費	0	
予備費	0	
小計	1,768,136	
定期性預金	81,503,984	
普通預金	5,059,814	
小計	86,563,798	
合計	88,331,934	

※奈良学園大学奈良文化女子短期大学部後援会費の残金を奈良学園大学後援会へ移管し、短大部発祥の「ソフトボール部」「女子バスケットボール部」の活動支援金として運用していたが、運用期間(2年)の終了に伴い、その残金を奈良学園大学奈良文化女子短期大学部同窓会に移管された。

奈良文化女子短期大学、奈良学園大学奈良文化女子短期大学部同窓会の令和3年度の経理について監査いたしましたところ、その内容は適切なものと認めます。

令和4年4月1日
会計監査 新谷 初予
会計監査 岡部 り子

会計報告

令和4年度 同窓会予算書

(収入の部)

項目	金額(円)
前年度繰越金	86,563,798
内訳	81,503,984 定期預金 5,059,814 普通預金
会費	0
利息	1,382 <small>利率(年) 0.002%</small>
合計	86,565,180

(支出・資産部)

項目	金額(円)	備考
事務局費	400,000	事務局運営費
事業費	500,000	会誌発送作業料・ことも動物園提供
備品費	200,000	
通信費	1,200,000	会誌発送料他
印刷費	500,000	封筒、会誌
光熱水費	0	
慶弔費	100,000	供花
予備費	100,000	
小計	3,000,000	
定期性預金	81,503,984	
普通預金	2,061,196	
小計	83,565,180	
合計	86,565,180	

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

音楽学科
日本上代音楽の研究(雅楽) 担当

笠置 侃一 先生
令和3年6月29日(逝去)
享年93歳

衛生看護学科
産科・婦人科 担当

島本 郁子 先生
令和4年6月9日(逝去)

元奈良文化女子短期大学事務局局長
速見 信孝 氏
令和3年11月22日(逝去)
享年98歳



笠置先生との思い出
平成10年 音楽学科定期演奏会
迦陵頻(かりょうびん)

令和3年度 会務報告

9月1日会誌発行

3月26日役員会(総会)
会誌の発行について
会計報告 他

STAFF EDITORS

- 池田 順子・櫻井 秀子
- 赤崎 良子・杉本 昭子
- 坪井 佳子・栢田 昌子
- 新谷 初予・岡部 り子
- 唐戸 栄子・成瀬 恵美子
- 牧浦 信恵・西井 祐子
- 柿本 幸子・大西 恭子

会誌送付先変更(住所変更)・会誌送付停止の連絡について

* 会員番号・卒業年・学科・在学時氏名を郵送又はメールでお知らせください。
様式 奈良学園大学 HP → 目的別メニュー → 卒業生のかたへ → 短大同窓会
郵送先 〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘3-15-1 奈良学園大学内
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部 同窓会まほろば事務局
メール mail:nwc-mahoroba@nara-su.ac.jp
TEL0742-47-2260 原則 水曜日 10:00 ~ 13:00開室